



## くに宝の都・大崎で、ゆっくり、リラックス。

大崎市には鳴子温泉郷をはじめ、郷土食や地酒、豊かな里地・里山、多くの史跡名勝、人情豊かな人など、地域の「宝」がたくさんあります。「みんなが主役」の視点で地域や産業が連携し、「宝」を磨き合うことで、大崎ならではの体験を提供し、観光・大崎の創造を目指しましょう。

大崎市は宮城県西部に位置する人口134,292人(平成27年4月1日現在)の中核都市で、訪れる観光客数は県内では仙台市に次ぎ第2位(平成26年統計)となっています。大崎市の南北方向には東北新幹線と東北本線、東北縦貫自動車道、国道4号が伸び、東西方向には、陸羽東線、国道47号、108号が横断していることから、市中心部を起点にすると、奥座敷、鳴子温泉はもちろんのこと、仙台市や松島町、平泉町などへ列車や車のいずれでも1時間以内で行くことができるため、観光アクセスの拠点として高いポテンシャルを有しています。

『ふつつ共和国』は、宮城県大崎市にふつつと息づく豊かな自然・食・文化を広く人々にお届けします。



## 大崎市観光振興ビジョン [ダイジェスト版]

発行：宮城県大崎市  
 編集：大崎市産業経済部観光交流課  
 住所：宮城県大崎市古川七日町1-1  
 TEL：0229-23-2111(代表)  
 FAX：0229-23-9979  
 URL：http://www.osaki.miyagi.jp/

平成27年12月発行

# 大崎市観光振興ビジョン[ダイジェスト版] みんなが主役、みんなが進める、 “観光・大崎”の創造!

人 × 大崎 × 観光 = 宝の都・大崎



平成27年12月発行  
 宮城県大崎市

# みんなが主役、観光振興

## 大崎市観光振興ビジョンを策定しました！

### みんなが主役

このたび大崎市では、魅力ある観光によるまちづくりに向け、「みんなが主役」という視点から、観光に係わっている方々の力と知恵の集約はもちろんのこと、市民、団体、産業、そして行政が一体となった取り組みを進めるための共通の目標や指針となる「大崎市観光振興ビジョン」※を策定いたしました。

観光は裾野が広く経済波及効果が高い分野です。人口減少、少子・高齢化が進むなか、みんなが主役となって資源を有効活用し、観光振興を推進することで、地域の産業連携を促進させ、交流人口の増加による経済の拡大を通じて最終的には定住人口の維持、増加につなげることが可能です。

※この計画は、「大崎市総合計画」(平成19年度に策定。計画期間は平成28年度までの10年間)が掲げた大崎市の観光振興に関する個別計画として位置づけられるものであり、市が策定する全ての他の個別計画、また、国や県の計画と整合を保ち、連携しつつ観光振興を図っていくものとなります。平成36年度までの計画期間となっていますが、5年目に見直すこととします。

### 基本的な考え方

大崎市は平成18年3月の合併以来、旧市町が培ってきた地域の個性や歴史、生活・文化、食、農林業、商工業、自然、環境、温泉など多様で魅力的な資源を「宝」として活かし、観光振興に取り組んできました。

このさまざまな「宝」を市民一人ひとりが認識し、磨きをかけ、全国に発信していくためには、改めて大崎市の優位性に着目し、全ての主体と7つの地域が一体となって取り組んで行くことが求められます。



# みんなで作る、大崎ブランド

## 多彩な観光資源を生かして地域を元気に！

### 大崎市の強みと取り組むべき課題

大崎市は広い地域に山岳、自然、温泉、街並みや道の駅などをはじめとする多彩な観光スポットや集客施設が存在しています。また、地域の歴史、文化、食、イベントなど多様な資源を有しています。

大崎市では、このような資源を地域の強みとしてフル活用し、「観光振興による交流人口の拡大と定住人口の維持・増加」「観光客入込数、宿泊客数の増加」「観光資源のネットワーク化と情報発信力の強化」「観光関連産業の競争力の強化」「他産業との連携」「鳴子温泉郷の再生」といった課題に取り組んでいきます。

### 観光を取り巻く環境変化への対応

日本の人口は、平成20年をピークに減少に転じ、長期の人口減少過程に入ると予測されています。

こうしたなか、国内旅行のスタイルは団体から個人の小さなグループへ移行し、国内観光客の市場は縮小傾向へ向かうとみられていますが、若い世代の体験型旅行や団塊の世代向けの旅行がこれからのマーケットとして注目されています。

大崎市では、地域のブランド力をさらに高め、観光を取り巻く環境変化に対応してまいります。

### 訪日外国人観光客市場拡大への対応

訪日外国人観光客数は、平成25年に初めて1,000万人を突破し、同26年には1,341万人と、かつてないペースで急増しています。しかしながら、東北地方や宮城県を訪れる訪客数の伸びは低率であることから、東北全体として国、各県、旅行会社、交通関係者などとの関係を強化し、積極的に取り組む必要があります。

### 観光振興に向けた戦略と行動指針

大崎市では、これからの観光振興に向けて、以下の3つのキーワードを掲げた戦略と9つの行動指針を定めます。

#### 戦略1 宝の都・大崎を知っていただく(情報発信戦略)

訪れたいまちを目指し、新たな魅力を創出し、質の高い情報を発信します

#### 行動指針1 “観光・大崎”を強みにアピールします

▶一人ひとりが大崎市に関心を持ち、大崎を知り、大崎を語ることで「観光・大崎」を伝えることが可能となります。「語ることでできない地域に人は来ない、人の話で景色は変わる」との考え方に立ち、多くの方に大崎をアピールします。

#### 行動指針2 新たな魅力をつくり、訪れたいまちを目指します

▶多様な資源を有する大崎市では、市内全域をステージと見立て、これまでの観光資源の組み合わせを変えたり、これまで観光資源と思われていなかった「原石」を発掘し、磨き込むことにより新たな魅力をアピールし、訪れたいまちを目指します。

#### 行動指針3 質の高い情報を発信します

▶新鮮かつ質の高い、観光客が知りたくないような情報を発信し続けることが重要です。こうした情報は、市民にとっても自らの地域の再確認につながります。的確な情報発信で、観光客が訪れやすく、また、市民一人ひとりが情報発信源となることを目指します。

# みんなが進める、観光振興ビジョン

## 一丸となって観光振興を進めましょう！



この行動指針は大崎市全体で取り組んでこそ実効性が高まります。行政や観光事業者、観光関係団体のみならず、農林業、商工業者、市民など、あらゆる主体がそれぞれの役割を認識し、分担して相互に連携して行動することが大切です。

#### 戦略2 宝の都・大崎でおもてなしをする(厚遇連携戦略)

多様な観光主体が一体となり、`大崎ならではのおもてなし`を目指します

#### 行動指針4 “大崎ならでは”の丁寧なおもてなしの実現を目指します

▶大崎市へいらしていただいたお客様に対しては、`大崎ならでは`の丁寧なおもてなし。のスタイルを確立することが大切です。多様な観光資源を有する大崎市として、地域ぐるみでおもてなしの意味を理解し、実践につなげます。

#### 行動指針5 観光客、市民双方にとって安全で快適なまちをつくりまします

▶たくさんのお客様に来ていただきたいと考えても、治安が悪化したり、至るところにゴミが散乱するようなことであってはなりません。来訪者、市民双方にとって安心、安全、清潔なまちをつくることでお互いに快適な、おもてなしの環境が生まれます。

#### 行動指針6 観光客、市民双方にとって快適な交通環境をつくりまします

▶旅行シーズン、四季折々のイベントなどにおいて一度にたくさんのお客様が訪れると渋滞が発生するなどして来訪者、市民双方に大きなストレスが発生します。お互いが快適な交通環境をつくることは観光を推進するうえで大きな課題です。まずは現状を認識し、道路アクセスの改善などの検討を行うことが大切です。

#### 戦略3 宝の都・大崎にまた来ていただく(再訪促進戦略)

地域資源を磨き、つなぎ、再訪を促すよう、さらなる魅力の向上に取り組まします

#### 行動指針7 地域資源を磨き、つなぎ、常に魅力の向上を図ります

▶観光の形態が多様化する中、観光地に求められることは、非日常ではなく`欲しかった日常`を提供することです。大崎ならでは`の観光を実現するため、これまで見過ごしていたかもしれない資源にも目を向け、磨き、新しい資源とすることが大切です。

#### 行動指針8 市民が一体となって「また来ていただく」工夫をします

▶観光の地域間競争が激化する中、お客様に選ばれる観光地になるためには、大崎市が一丸となって観光振興に取り組むことが重要です。そのためには、市民一人ひとりが市内各地域の交流密度を高め、お互いをよく知り、学び合うことが必要です。

#### 行動指針9 地域の資源を良好に保全し、リピーターの期待に応えます

▶大崎市の多様な資源はわれわれだけのものではありません。郷土の自然や先人からの預かり物として良好に保全して未来へ伝える必要があります。リピーターの期待に応えるためにも、過去の遺産を未来への輝きに変える努力と持続力が求められます。

# みんなで行きつむ、観光のまちづくり

## 大崎の魅力を一緒に磨き合ひましょう！

### 観光振興を図る推進体制

大崎市観光振興ビジョンを実現するためには、「誰が・何を・どのようにするか」を明確にし、市民、観光事業者、農林商工業者、団体などさまざまな主体が協力し、一体となって取り組むことが必要です。



何が大事なの? 何をしたらいいの?



### 数値目標

社会・経済の動きや観光客のニーズなどの変化を勘案しつつ、本計画に掲げたさまざまな取り組みを通じた今後の目標数値を設定しました。



※平成25年数値は、市民に対する観光や物産の振興についての満足度調査による(内訳は、「満足」11.5%、「やや満足」21.6%)。